

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

院内肝炎ウイルス陽性者の実態調査に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、国立国際医療研究センターの倫理委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	院内肝炎ウイルス陽性者の実態調査
研究機関名	国立国際医療研究センター
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 第三内科 (職名) 准教授 (氏名) 徳本良雄
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日
対象となる方	2014 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日に当院を受診された方のうち、肝臓専門医以外が HBs 抗原検査及び HCV 抗体検査を実施し、陽性が確認された方。
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、病名、過去の肝炎ウイルス検査実施、肝炎に関する院内専門医への紹介などの受診状況。
研究の概要 (目的・方法)	B 型肝炎や C 型肝炎治療の進歩により、肝炎ウイルス検査 (HBs 抗原、HCV 抗体) 陽性の患者さんが肝臓専門医を受診し、適切な治療を受けることが重要と考えられています。しかし、陽性の患者さんの中には受診や治療をしていない場合があります。そのため、病院で肝炎ウイルス検査を受けて陽性であった患者さんを対象として、受診につながらなかった理由を明らかにすることを目的としています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で、国立国際医療研究センターに提供します。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術

	雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院第三内科 徳本良雄 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5820